

Title	形象 5号 編集後記
Author(s)	三木, 順子
Citation	形象. 2023, 5, p. 95
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/92253">https://hdl.handle.net/11094/92253</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編集後記

第五号をお届けいたします。

本号に掲載された一般論文は、査読を経て掲載されたものです（査読者・石田圭子／原千史／府川純一郎／三木順子）。

今号から、電子媒体での刊行となりました。制作は、株式会社北斗プリント社さんにご担当いただきました。あわたたしい刊行スケジュールにもかかわらず、丁寧に、細やかに作業を進めてくださったことに心から感謝しております。紙の媒体で第四号を刊行した二〇一九年から四年のブランクが生じましたが、今後は、電子媒体で年一冊の刊行継続していくことを目指しています。『形象』の刊行が中断していたあいだ、コロナではありましたが、形象論研究会はオンラインで活動を続けてきました。二〇二〇年九月四日には、大阪大学の東志保さん（映画研究）、同志社大学の森田園さん（ベンヤミン研究）、京都大学大学院生の二宮望さん（イメージ論研究）に刺激のある議論を提供していただきました。二〇二二年三月一日には、アドルノをテーマとする研究会を開催し、府川純一郎さんと守博紀さんから専門的な話題を提供していただき、活気のあるディスカッションが展開されました。ゲストスピーカーの方々には深くお礼申し上げます。今号は、二〇二二年の研究会での議論を報告するアドルノ特集号となりました。

二〇二三年三月四日に、西南学院大学でハイフレックス形式の研究会を開催しました。ベンヤミンをテーマとして、新潟大学の田邊恵子さんと大阪城南女子短期大学の村上真樹さんをお招きし、若手研究者の方々にもご参加いただき、活発な議論の場が開かれました。九州までお運びくださったゲストスピーカーのお二人とオーディエンスのみなさま、オンラインでご参加くださったみなさま、ありがとうございます。この研究会が、一七回目の形象論研究会となります。次号の『形象』は、この第一七回形象論研究会を報告する、ベンヤミン特集号となります。

本誌に目をおしてくださる読者の方々から、忌憚らないご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。研究会に興味を持たれた方は、メンバーまでお問い合わせください。二〇二三年夏に、新潟で、「危機のイメージ／イメージの危機 Bilder der Krise/Bildkrisen」を中心テーマとする、第一八回研究会の開催を予定しています。【三木順子】